



鳥取市教育センターだより

第7号 平成27年11月11日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

感謝の心

「1年後は60% 5年後は15% 10年後は5% 30年後は2% 50年後は0.7% 100年後は0.03%」
これは設立された会社の存続率だそうです。100年残る会社は0.03%。

では、500年残る会社となると・・・それはもはや「奇跡」といえるでしょう。

和菓子の老舗「虎屋」。ここは室町時代から今日まで約500年以上も事業を持続させているのです。虎屋の17代目の黒川光博社長は、500年の秘密をこう語っています。

『変えるものと変えてはいけないものをハッキリさせてきたことが、虎屋が500年以上も続いてきた大きな要因ではないか、と私は思います。変えてはいけないもの、それは伝統の味ではありません。味は変えてしかるべきだと思います。』

味覚は生活が変われば変化しますから、時代によって常に変えていくのだそうです。では変えてはいけないものは何か？という問いに、黒川社長は『お客様への感謝の心です』と答えています。

立て替えのため、10月7日で赤坂本店の営業を一時休止することをホームページに掲載された文章に、このことを裏付ける言葉が紹介されていました。

『この店でお客様をお迎えした51年のあいだ、多くの素晴らしい出逢いに恵まれました。

3日にあげずご来店くださり、きまってお汁粉を召し上がる男性のお客様。毎朝お母さまとご一緒に小形羊羹を1つお買い求めくださっていた、当時幼稚園生でいらしたお客様。ある時おひとりでお見えになったので、心配になった店員が外へ出てみると、お母さまがこっそり隠れて見守っていたらしゃったということもありました。車椅子でご来店くださっていた、100歳になられる女性のお客様。入院生活に入られてからはご家族が生菓子や干菓子をお買い求めくださいました。お食事ができなくなられてからも、弊社の干菓子をくずしながらお召し上がりになったと伺っています。このようにお客様とともに過ごさせて頂いた時間をここに書き尽くすことは到底できませんが、おひとりおひとりのお姿は、強く私たちの心に焼き付いています。

新たな店でもたくさんの方々との出逢いを楽しみにしつつ、これまでのご愛顧に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。』

『ありがとう』という気持ちから生まれる日々の技術革新。それが500年生き残る秘密だと思います。“500年続く”という奇跡を起こせる人、それは、根底に深い『感謝の心』を持っている人なのではないかと思います。

11月は「霜月」のほか、秋の収穫を神様に感謝するお祭りが行われてきたことから、「食物月（おしものづき）」とも呼ばれています。「収穫」ということを意識して11月の名称を「食物」としたことに、昔の人々が11月を「感謝の月」として大切にしていたことが分かります。

私も自然の営みや社会、そして自分をとりまく身近な人々に感謝を感じながら、「今できることを感謝を持って実践していきたい」と感じています。

11月行事

- 17日(火) 第3回鳥取市小・中学校講師研修会(湖東中学校)
- 18日(水) きなんせ! English World キャラバン(賀露小学校)
- 24日(火) 適応指導教室「すなはま」保護者研修会
第3回鳥取市小・中学校講師研修会(美保小学校、東中学校)
- 25日(水) きなんせ! English World キャラバン(鹿野小学校)



教育支援係

特別支援教育研修会

「愛着障がい・愛着の問題を抱える子どもへの支援」
和歌山大学教育学部 米澤 好史 先生



10月26日(月)、国府町中央公民館で行い、152名(保育園・幼稚園68名、小学校34名、中学校22名、高校・特別支援学校6名、関係機関22名)の参加がありました。前半は「愛着障がいの捉え方や発見のポイント」、後半は「愛着の問題をかかえる子どもへの支援の仕方」について学びました。「教育現場で課題となっている問題に向き合えた」「子どもたちを思い浮かべて聴き、納得できた」「これまでの対応が間違っていた」などの感想がたくさんありました。

講演後の「公開事例検討会」には、40名の有志が参加し、3保育園と1小学校の事例を検討しました。子どもの状態と支援方法について、米澤先生から直接具体的なアドバイスをいただくことができ、大変有意義な時間となりました。



愛着障がいと他の発達障がいの違いを知り、支援方法を変えることが大切であると学びました。

公開事例検討会。事例提供者だけでなく、会場からも、先生方が日頃の支援の悩みを語られました。



後から後から質問が。ていねいに答えていただきました。

第2回ひらがな音読支援実施説明会

10月16日(金)・19日(月)の2日間、鳥取大学地域学部 赤尾依子先生をお招きし、24名の先生と実施方法の確認を行いました。

現在第2回の音読確認(直音連続読み、単音連続読み)を終え、各校が教育センターに結果を提出してくださっているところです。全体の結果が出ましたらお知らせします。



保護者研修会

適応指導教室「すなはま」の保護者研修会を計画しています。各小・中学校で不登校・行き渋り状態にある子どもの保護者へ、必要に応じて文書配布をお願いします。(電子メール、紙文書にて各校にお知らせしています。)

※教育センターのHPもご覧ください。

日時 11月24日(火) 18:00~20:00

場所 鳥取市教育センター 第1研修室

内容 ★「こころのコンサート」

シンガーソングライター講演師

石川 達之 さん

★茶話会(希望者)



研修企画係

児童生徒の学習意欲を高める授業をめざして

11月6日 ICT 活用に関する研修会

タブレット PC 導入校の情報教育担当者を対象として、浜村小学校で研修会を行いました。

総合的な学習の時間（3年「大好き！浜村」）の公開授業では、ICT機器を活用しながら、各班がまとめた探検新聞を見て意見や質問を出し合ったり、学習の成果を発信する方法を考えたりしました。後半は、各校の活用状況や環境整備・職員研修等について意見交換を行いました。



タブレットで新聞を閲覧し意見をまとめます



ディスプレイに新聞を拡大表示して話し合い

英語でふれあい学び合い

10月17日 English World

小学生32名が外国語指導助手（ALT）等18名と、ハロウィーンにちなんだ3つの活動を楽しみました。外国人の先生たちの衣装コンテストもあり、英語と外国の文化にたっぷりふれ、子どもたちは笑顔いっぱいでした。



ハロウィーンを話題に英会話に挑戦



《参加者の感想》

- ・どの活動も楽しかった。生の外国語が聞けたのでよかった。
- ・1対1で会話することができて、より英語に親しめたと思う。
- ・いろいろな人とふれ合うことでたくさん学べた。また参加したい。

10月14日 キャラバン（城北小）



先生の宝物はどれかな？
英語クイズに興味津々

10月21日 キャラバン（湖南学園）



習字体験の後は日本文化を話題にコミュニケーション